

日本学術会議／電気学会 公開シンポジウム
電気エネルギーの未来を考える
～ブラックアウトの現象、影響と提言～
開催報告

事業サービス課

標記公開シンポジウムを平成31年1月17日（木）に日本学術会議 講堂（東京都港区六本木7-22-34）において開催した。以下に開催報告を記す。

日 時：平成31年1月17日（木）13:00～17:15

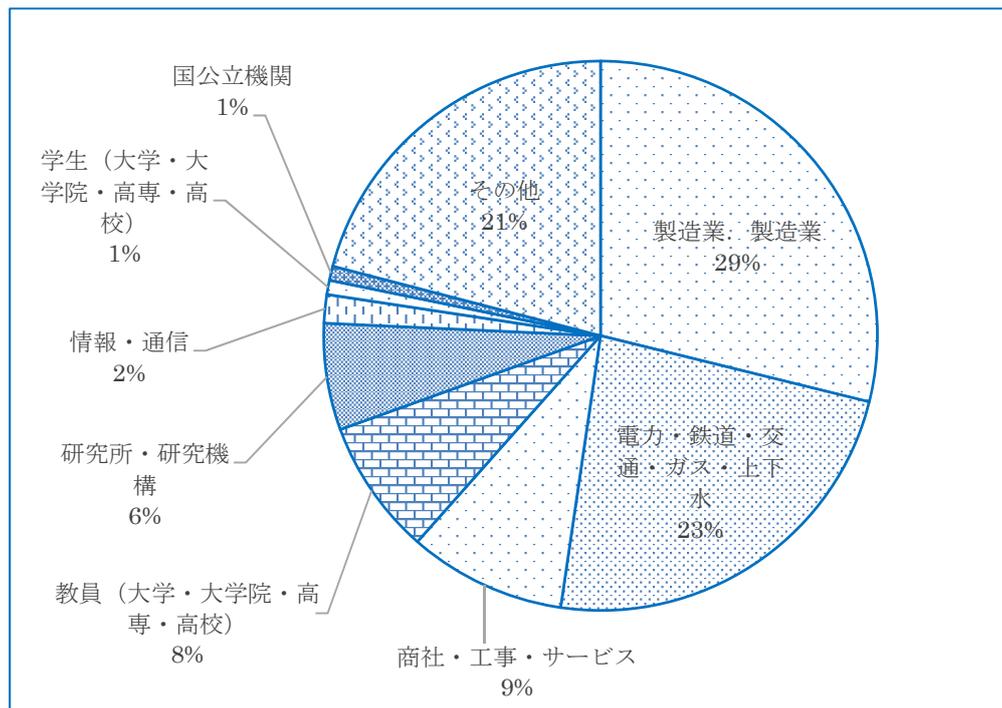
場 所：日本学術会議 講堂（東京都港区六本木7-22-34）

主 催：日本学術会議 第3部 電気電子工学委員会
一般社団法人 電気学会

協 賛：一般社団法人 電子情報通信学会

参加者：300名（一般295名，報道5名）

《参加者（一般）業種別》



広報活動：チラシ 20,400部を作成（2018年12月号付録）

電気学会ホームページへの掲載（2018年11月30日）

メールマガジン（会員全員：12/1）開催案内・参加募集通知

メールマガジン（会員全員：12/5）参加募集（追加）通知

学会誌 2019年1月号会告案内掲載

記者クラブ（経産省・文科省）プレス（1/15）

内 容：

(司会) 今井 伸一 氏 (電気学会 総務企画理事)

挨拶 日高 邦彦 氏 (東京大学 日本学術会議第3部連携会員)

オープニング・リマークス 山口 博 氏 (電気学会会長)

【第1部】

ブラックアウトとはどういう現象か～ 北海道ではどのような事象が発生したのか ～
内藤 淳一 氏 (電力広域的運営推進機関理事)

情報通信システムへの影響 星野 理彰 氏 (東日本電信電話株式会社取締役
ネットワーク事業推進本部 設備企画部長・サービス運営部長)

交通・鉄道への影響 近藤 圭一郎 氏 (早稲田大学先進理工学部教授)

水道への影響 小玉 俊治 氏 (東京都水道局浄水部設備課電気保安担当課長代理)

一般生活者への影響 若林 直子 氏 (生活環境工房あくと代表)

今回の教訓をどう活かすか 松尾 博文 氏 (日本経済社新聞編集委員)

【第2部】

パネルディスカッション

(モデレーター) 神津 カンナ 氏 (作家/エッセイスト)

(パネリスト) 曳野 潔 氏 (経済産業省資源エネルギー庁電力基盤整備課長), 全講演者
および今井 伸一 氏 (東京電力パワーグリッド株式会社常務取締役)

閉会の挨拶 大西 公平 氏 (慶應義塾大学 日本学術会議第3部会員)

当日の様子：



以上